

第3 統計

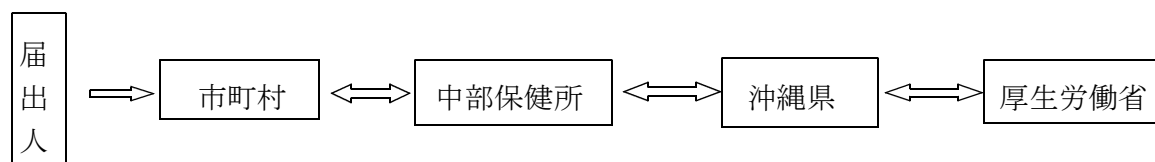
1 人口動態統計

【概略】 我が国では、「人口動態事象」のうち出生、死亡、婚姻、離婚及び死産についての人口動態調査が実施されている。

人口動態統計は、明治4年の「戸籍法三十三則」によって戸籍簿が完成されたことにより翌5年にはじまった。当初は出生と死亡のみの調査であったが、明治17年には婚姻と離婚が、さらに同19年には死産が加わり、主として市区村長が発生件数を年報によって報告する方法がとられていた。明治31年「戸籍法」が施行され、登録制度が法体系的にも整備されたのを機会に、翌32年から人口動態調査も1事件につき1枚の個別票を作成し、内閣統計局によって中央集計をするという近代的な人口動態調査制度が確立した。

昭和22年9月、人口動態事象の中でも特に出生、死亡、死産が公衆衛生施策の中心的資料になるという観点からこの事務が総理庁統計局から厚生省（当時）に移管されたのを期に、保健所が調査票の収集、利用機関となる。このことは死亡率の急速な低下等、公衆衛生の発展に大きく影響したといわれている。

人口動態調査票は、その届出を受けた市町村が作成し、保健所を経由して知事に提出、さらに厚生労働大臣に提出される。



【用語の解説】

自然増加	出生数から死亡数を減じたもの
乳児死亡	生後1年未満の死亡
新生児死亡	生後4週未満の死亡
早期新生児死亡	生後1週未満の死亡
死産	妊娠満12週（妊娠第4月）以後の死児の出産
周産期死亡	妊娠満22週（平成6年までは妊娠満28週）以後の死産と早期新生児死亡をあわせたもの

- ア. 出生・死亡・婚姻・離婚率 $= \text{年間事件数} / 10 \text{月} 1 \text{日現在人口} \times 1,000$ (注)
- イ. 自然増加率 $= \text{年間自然増加数} / 10 \text{月} 1 \text{日現在人口} \times 1,000$ (注)
- ウ. 乳児死亡・新生児・早期新生児死亡率
 $= \text{年間事件数} / \text{年間出生数} \times 1,000$
- エ. 周産期死亡率 $= \text{年間事件数} / \text{年間出産数} (\text{出生} + \text{妊娠満} 22 \text{週以後の死産数}) \times 1,000$
- オ. 死産率 $= \text{年間死産数} / \text{年間出産数} (\text{出生} + \text{死産}) \times 1,000$
- カ. 低体重児率 $= \text{年間低体重児数} / \text{年間出生数} \times 100$

(注) 分母に用いる人口は10月1日現在推計人口（県統計課）。

(1) 管内人口状況

ア 管内総人口及び面積

令和2年10月1日現在の管内人口は518,742人で、総世帯数は212,525世帯となっている。これは県全体の人口1,467,480人の35%(世帯数は34%)を占めており、面積に占める割合は16%となっている。

表1 市町村別人口総数及び世帯数

令和2年10月1日現在

市町村名	人口(人)			世帯数(件)	1世帯当たり の人口(人)	面積(k㎡)	人口密度 (人/1k㎡)
	総数	男	女				
県計	1,467,480	722,812	744,668	614,708	2.4	2282.59	642.90
管内計	518,742	255,128	263,614	212,525	2.4	367.92	1409.93
宜野湾市	100,125	48,826	51,299	44,163	2.3	19.80	5056.82
沖縄市	142,752	69,489	73,263	60,570	2.4	49.72	2871.12
うるま市	125,303	63,049	62,254	48,163	2.6	87.02	1439.93
恩納村	10,869	5,497	5,372	4,735	2.3	50.84	213.79
宜野座村	5,833	2,907	2,926	2,239	2.6	31.30	186.36
金武町	10,806	5,371	5,435	4,657	2.3	37.84	285.57
読谷村	41,206	20,242	20,964	15,672	2.6	35.28	1167.97
嘉手納町	13,521	6,561	6,960	5,220	2.6	15.12	894.25
北谷町	28,201	13,483	14,718	11,697	2.4	13.93	2024.48
北中城村	17,969	8,667	9,302	6,558	2.7	11.54	1557.11
中城村	22,157	11,036	11,121	8,851	2.5	15.53	1426.72

表2 市町村別人口年次推移

市町村名	区分	27年	28年	29年	30年	令和元年	令和2年
沖縄県	総数	1,433,566	1,439,913	1,443,802	1,448,101	1,433,566	1,467,480
	男	704,619	707,984	709,759	712,065	704,619	722,812
	女	728,947	731,929	734,043	736,036	728,947	744,668
管内計	総数	499,000	502,314	503,903	505,963	508,429	518,742
	男	244,970	246,679	247,225	248,283	249,388	255,128
	女	254,030	255,635	256,678	257,680	259,041	263,614
宜野湾市	総数	96,243	96,903	96,825	97,207	98,093	100,125
	男	47,022	47,315	47,102	47,254	47,680	48,826
	女	49,221	49,588	49,723	49,953	50,413	51,299
沖縄市	総数	139,279	140,506	140,825	141,102	141,462	142,752
	男	67,522	68,157	68,357	68,508	68,676	69,489
	女	71,757	72,349	72,468	72,594	72,786	73,263
うるま市	総数	118,898	119,307	119,864	120,557	121,294	125,303
	男	59,409	59,695	59,946	60,399	60,799	63,049
	女	59,489	59,612	59,918	60,158	60,495	62,254
恩納村	総数	10,652	10,714	10,756	10,843	10,940	10,869
	男	5,464	5,469	5,464	5,512	5,561	5,497
	女	5,188	5,245	5,292	5,331	5,379	5,372
宜野座村	総数	5,597	5,625	5,655	5,749	5,785	5,833
	男	2,775	2,802	2,817	2,861	2,877	2,907
	女	2,822	2,823	2,838	2,888	2,908	2,926
金武町	総数	11,232	11,259	11,267	11,367	11,270	10,806
	男	5,565	5,594	5,620	5,683	5,636	5,371
	女	5,667	5,665	5,647	5,684	5,634	5,435
読谷村	総数	39,504	39,681	39,695	39,548	39,628	41,206
	男	19,481	19,585	19,561	19,477	19,460	20,242
	女	20,023	20,096	20,134	20,071	20,168	20,964
嘉手納町	総数	13,685	13,671	13,639	13,587	13,471	13,521
	男	6,668	6,653	6,599	6,579	6,492	6,561
	女	7,017	7,018	7,040	7,008	6,979	6,960
北谷町	総数	28,308	28,578	28,519	28,430	28,270	28,201
	男	13,554	13,690	13,643	13,605	13,517	13,483
	女	14,754	14,888	14,876	14,825	14,753	14,718
北中城村	総数	16,148	16,040	16,303	16,521	16,674	17,969
	男	7,780	7,759	7,888	7,972	8,030	8,667
	女	8,368	8,281	8,415	8,549	8,644	9,302
中城村	総数	19,454	20,030	20,555	21,052	21,542	22,157
	男	9,730	9,960	10,228	10,433	10,660	11,036
	女	9,724	10,070	10,327	10,619	10,882	11,121

*世帯数並びに人口は令和2年10月1日現在推計人口(「第64回沖縄県統計年鑑(令和3年版)」(沖縄県企画部統計課)より抜粋)

*面積は令和2年10月1日現在(国土交通省国土地理院「全国都道府市区町村別面積調」より抜粋)

図1 市町村別人口推移（1985年～2020年）

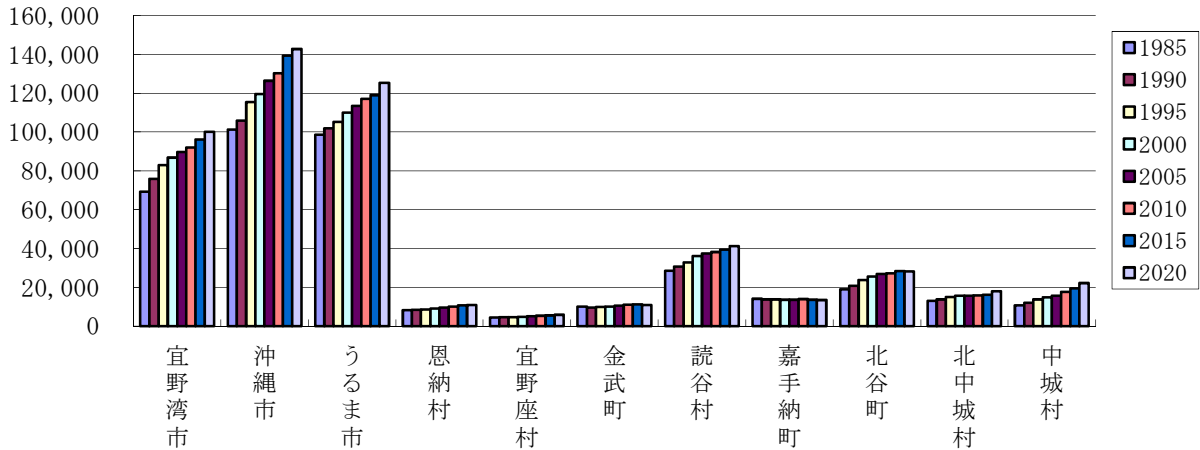
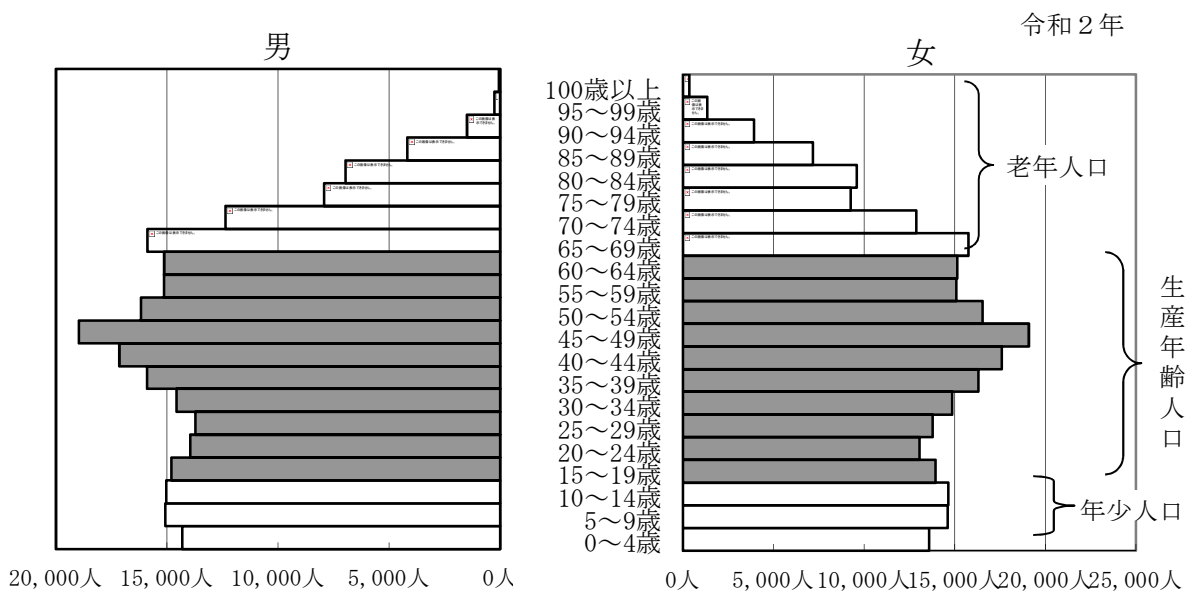


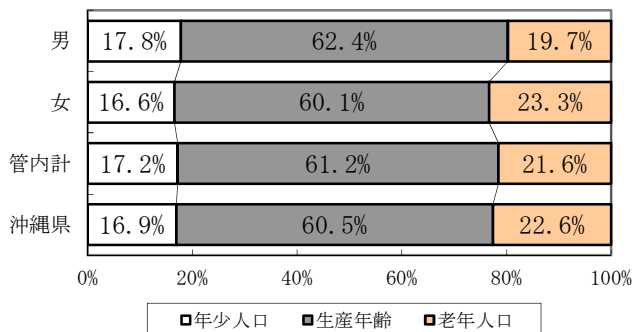
図2 管内人口ピラミッド



イ 管内3階級別年齢構成

管内における3階級別年齢構成は、年少人口(0歳～14歳)が16.9%(県全体分)より若干高い17.2%となっている。生産年齢人口(15歳～64歳)でも60.5%(県全体分)より高い61.2%となっている。高齢化率は22.6%(県全体分)より低い21.6%となっている。

図3 管内3階級別年齢構成 令和2年



	(令和2年、人)		
	年少人口	生産年齢	老年人口
男	44,418	155,509	49,130
女	42,860	155,433	60,312
管内計	87,278	310,942	109,442
県計	243,246	871,154	324,708

※ 上表の「管内計」「県計」は、それぞれ令和2年国勢調査における総務省により認定された以下の年齢等不詳者の人数を含まない(※管内計：12,784、県計：28,372)。

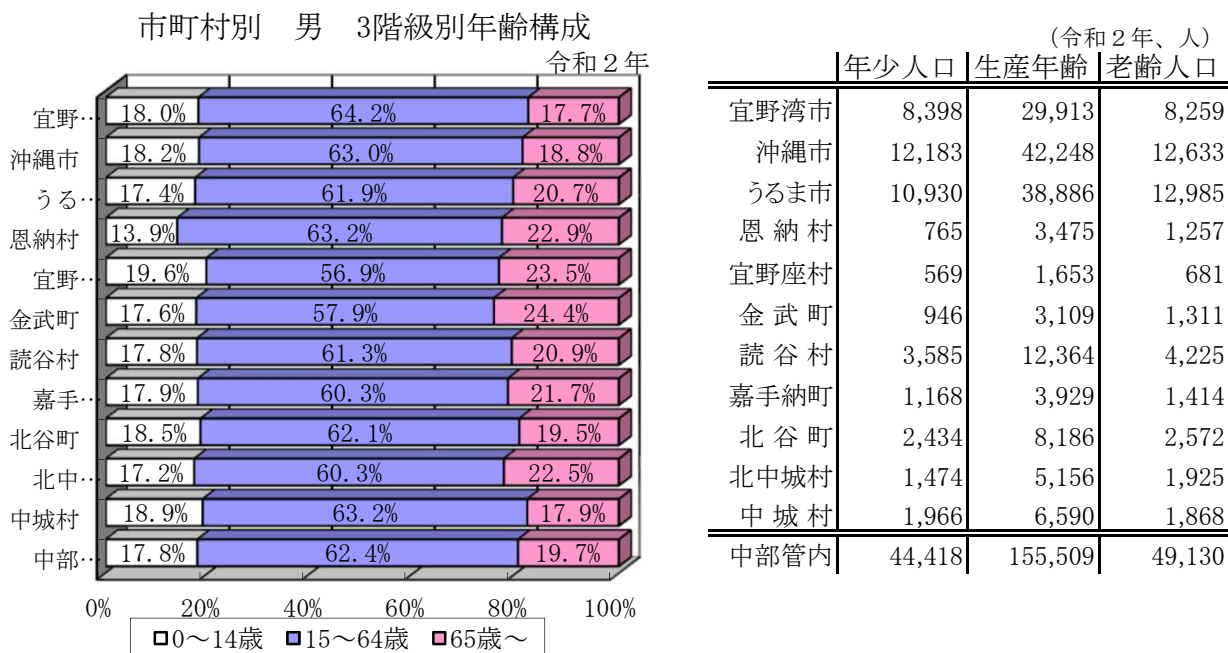
図1～図3:参照資料「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

図4 市町村別3階級別年齢構成

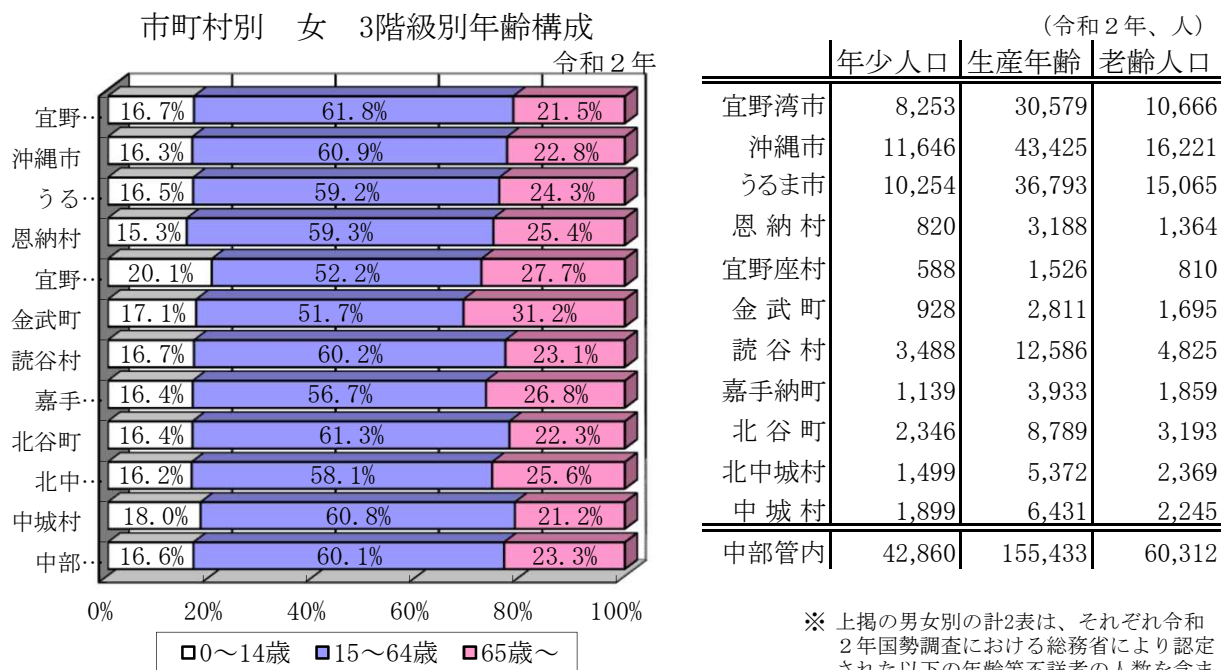
管内の男性の場合、65歳以上の高齢化率(老年人口)が高いのは、金武町(24.4)、宜野座村(23.5)、恩納村(22.9)の順となっている。

管内で生産年齢人口(15歳～64歳)の対人口比最大は宜野湾市(64.2)となっている。

管内の年少人口(0歳～14歳)が対人口比で多いのは、順に宜野座村(19.6)、中城村(18.9)、北谷町(18.5)となっている。生産年齢人口とは逆に年少人口の対人口比最小は恩納村(13.9)である。



管内の女性の場合、高齢化率(老年人口)が高いのは、金武町(31.2)、宜野座村(27.7)、嘉手納町(26.8)の順となっている。金武町は男女とも管内での高齢化率は対人口比で最大値となっている。生産年齢人口(15歳～64歳)が対人口比で多いのは、宜野湾市(61.8)、北谷町(61.3)、沖縄市(60.9)の順となっている。年少人口(0歳～14歳)の対人口比は、宜野座村(20.1)、中城村(18.0)、金武町(17.1)の順となっている。男女ともに対人口比での年少人口比最小は恩納村となっている。



※ 上掲の男女別の計2表は、それぞれ令和2年国勢調査における総務省により認定された以下の年齢等不詳者の人数を含まない(※管内計：12,784、県計：28,372)。

参照資料「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

(2) 管内人口総覧

表3 ア 人口動態総覧(確定数) (令和2年)

	出生数				死亡数				自然増減		乳児死亡数			新生児死亡		死産数				周産期死亡数			婚姻		離婚	人口								
	総数	男	女	率 (%)	総数	男	女	率 (%)	数	率 (%)	男	女	率 (%)	数	率 (%)	総数	自然	人工	率 (出産千対)	総数	自然	人工	率 (出産千対)	数			率	数	率					
																														2500g未満		早 期 新 生 児 死 亡 数	妊 娠 満 期 死 産 数	死 産 週 以 後 の 死 産 数
																														数	率			
宜野湾市	1,183	604	579	11.8	122	10.3	617	338	279	6.2	566	5.7	1	0	0.8	1	1	23	12	11	19.1	10.0	9.1	2	1	1	1.7	645	6.4	227	2.3	100,125		
沖縄市	1,501	791	710	10.5	180	12.0	1,135	600	535	8.0	366	2.6	3	2	2.0	1	0.7	32	20	12	20.9	13.0	7.8	4	3	1	2.7	791	5.5	409	2.9	142,752		
うるま市	1,339	669	670	10.7	160	11.9	1,152	625	527	9.2	187	1.5	7	3	4	5.2	4	33	17	16	24.1	12.4	11.7	10	5	5	7.4	642	5.1	315	2.5	125,303		
恩納村	58	24	34	5.3	10	17.2	94	46	48	8.6	△36	△3.3	0	0	0	0	0	2	2	0	33.3	33.3	0.0	0	0	0	0.0	50	4.6	21	1.9	10,869		
宜野座村	76	35	41	13.0	9	11.8	73	37	36	12.5	3	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	30	5.1	9	1.5	5,833		
金武町	114	58	56	10.5	11	9.6	134	70	64	12.4	△20	△1.9	2	1	1	18	1	1	1	8.7	0.0	8.7	1	0	1	0	1	8.8	64	5.9	26	2.4	10,806	
読谷村	376	192	184	9.1	33	8.8	317	157	160	7.7	59	1.4	0	0	0	0	0	5	1	4	13.1	2.6	10.5	0	0	0	0.0	183	4.4	83	2.0	41,206		
嘉手納町	128	65	63	9.5	17	13.3	146	68	78	10.8	△18	△1.3	0	0	0	0	0	3	2	1	22.9	15.3	7.6	1	1	0	7.8	52	3.8	39	2.9	13,521		
北谷町	286	151	135	10.1	37	12.9	213	124	89	7.6	73	2.6	0	0	0	0	0	7	4	3	23.9	13.7	10.2	1	1	0	3.5	196	7.0	76	2.7	28,201		
北中城村	158	70	88	8.8	19	12.0	123	69	54	6.8	35	1.9	0	0	0	0	0	5	2	3	30.7	12	18.4	0	0	0	0.0	66	3.7	40	2.2	17,969		
中城村	248	126	122	11.2	27	10.9	154	94	60	7.0	94	4.2	1	1	0	4	0	5	1	4	19.8	4.0	15.8	1	1	0	4	119	5.4	39	1.8	22,157		
管内計	5,467	2,785	2,682	10.5	625	11.4	4,158	2,228	1,930	8.0	1,309	2.5	14	8	2.6	8	1.5	116	61	55	20.8	10.9	9.9	20	12	8	3.7	2,838	5.5	1,284	2.5	518,742		
沖縄県	14,943	7,637	7,306	10.2	1,628	10.9	12,390	6,703	5,687	8.4	2,553	1.7	39	21	18	2.6	19	1.3	323	153	170	21.2	10.0	11.1	52	35	17	3.5	7,376	5.0	3,410	2.32	1,467,480	
北部	935	470	465	9.3	103	11.0	1,081	602	479	10.7	△146	△1.4	1	1	0	1.1	1	1.1	21	12	9	22.0	12.6	9.4	4	3	1	4.3	438	4.3	223	2.21	100,751	
南部	4,727	2,430	2,297	11.2	495	10.5	3,175	1,732	1,443	7.5	1,552	3.7	12	7	5	2.5	3	0.6	94	44	50	19.5	9.1	10.4	15	12	3	3.2	2,039	4.8	943	2.23	423,118	
宮古	529	271	258	9.8	51	9.6	704	393	311	13.0	△175	△3.2	1	0	1	1.9	1	1.9	11	6	5	20.4	11.1	9.3	1	0	1	1.9	273	5.1	160	2.96	53,989	
八重山	548	272	276	10.3	55	10.0	483	272	211	9.1	65	1.2	2	1	1	3.6	2	3.6	9	4	5	16.2	7.2	9.0	2	0	2	3.6	318	6.0	138	2.59	53,255	
那覇市	2,737	1,409	1,328	8.6	299	10.9	2,789	1,476	1,313	8.8	△52	-0.2	9	4	5	3.3	4	1.5	72	26	46	25.6	9.3	16.4	10	8	2	3.6	1,470	4.6	662	2.08	317,625	

*死亡数欄の実人員数は、沖縄県HP中の保健医療総務課ページ内の「R2人口動態編」の「令和2年衛生統計年報(人口動態編)」の「3.総覧」の「令和2年 総覧 人口動態総覧、保健所、市町村別」の関連数値を、同じく前掲課ページ内の「R2概況(確定数)」中の「人口動態総覧、性・保健所・市町村別(令和2年)」の関連数値をそれぞれ按群引用した。

*人口欄は令和2年10月1日現在推計人口(「第64回沖縄県統計年鑑(令和3年版)」(沖縄県企画部統計課)から引用した)。

イ 出生率の年次推移

令和2年の管内出生数は5,467人で前年より173人の増、出生率は10.5で前年より0.1上昇している。

管内において、出生率の対人口比最大は宜野座村（13.0）である。

県全体の出生率（10.2）との比較で同率以上は管内11市町村のうち6市町村となっている。

管内において、出生率が対人口比での最小値は恩納村（5.3）となっている。

県内に占める管内の人口は35%であるが、県全体の出生数14,943人に占める管内出生数5,467人は約37%となっている。各保健所管内比較としては、南部保健所管内（11.2）に次ぐ出生率となっている。

表4

年	宜野湾市	沖縄市	うるま市	恩納村	宜野座村	金武町	読谷村	嘉手納町	北谷町
平成21年	13.9	13.6	11.9	10.3	14.3	12.6	11.6	9.5	12.4
平成22年	13.9	13.1	12.1	8.9	13.9	13.5	12.3	10.1	12.7
平成23年	14.3	13.0	11.3	11.1	13.4	14.3	12.2	10.2	12.6
平成24年	13.8	13.3	11.3	10.3	17.4	11.7	12.3	10.2	11.6
平成25年	13.7	13.3	11.2	9.5	14.0	15.5	12.1	10.8	12.5
平成26年	13.0	12.3	10.8	9.5	14.1	12.7	11.1	11.4	11.1
平成27年	13.0	12.4	12.0	8.8	12.1	12.9	10.8	11.2	11.7
平成28年	13.3	12.7	11.2	10.0	14.1	12.5	9.9	10.7	12.5
平成29年	12.8	11.7	11.2	8.6	12.2	13.0	10.2	11.9	11.7
平成30年	11.9	11.5	11.0	8.0	10.6	11.9	9.8	10.1	11.5
令和元年	11.6	10.1	10.4	6.6	13.1	9.7	9.2	9.1	9.7
令和2年	11.8	10.5	10.7	5.3	13.0	10.5	9.1	9.5	10.1

年	北中城村	中城村	管内	沖縄県
平成21年	11.6	10.2	12.6	12.2
平成22年	12.8	12.0	12.7	12.3
平成23年	12.2	11.4	12.6	12.1
平成24年	11.1	10.6	12.4	12.2
平成25年	10.2	11.5	12.5	12.2
平成26年	12.1	11.6	11.8	11.6
平成27年	11.8	12.1	12.1	11.8
平成28年	9.4	12.7	12.0	11.6
平成29年	10.7	12.7	11.7	11.3
平成30年	10.7	11.8	11.2	11.0
令和元年	10.4	12.9	10.4	10.2
令和2年	8.8	11.2	10.5	10.2

図5-1 市町村別出生率の年次推移(宜野湾)

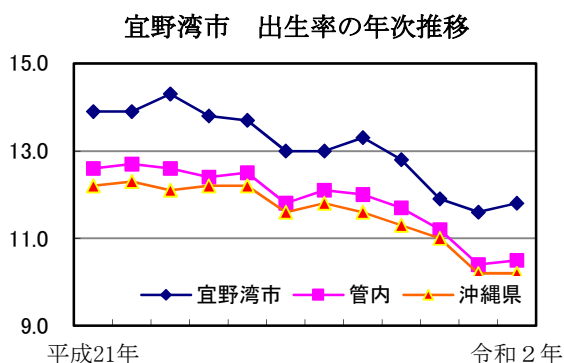


図5-2 市町村別出生率の年次推移 (沖縄市・うるま市)

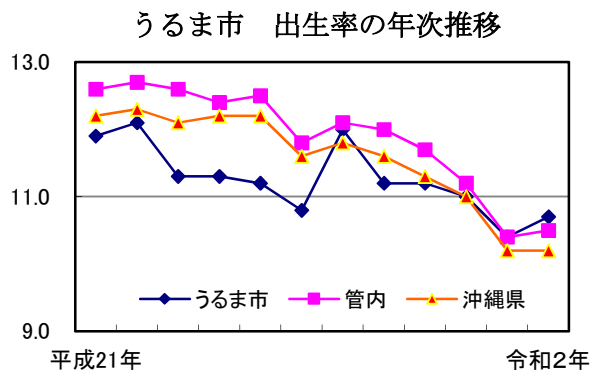
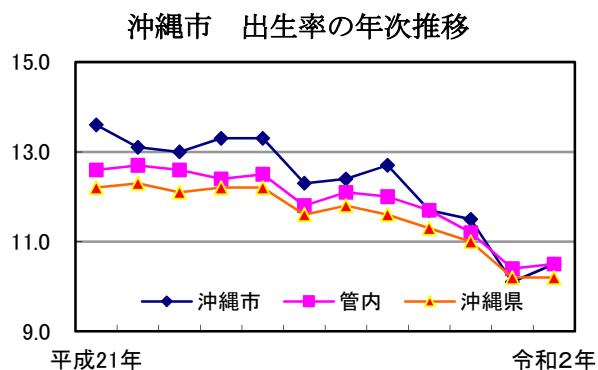
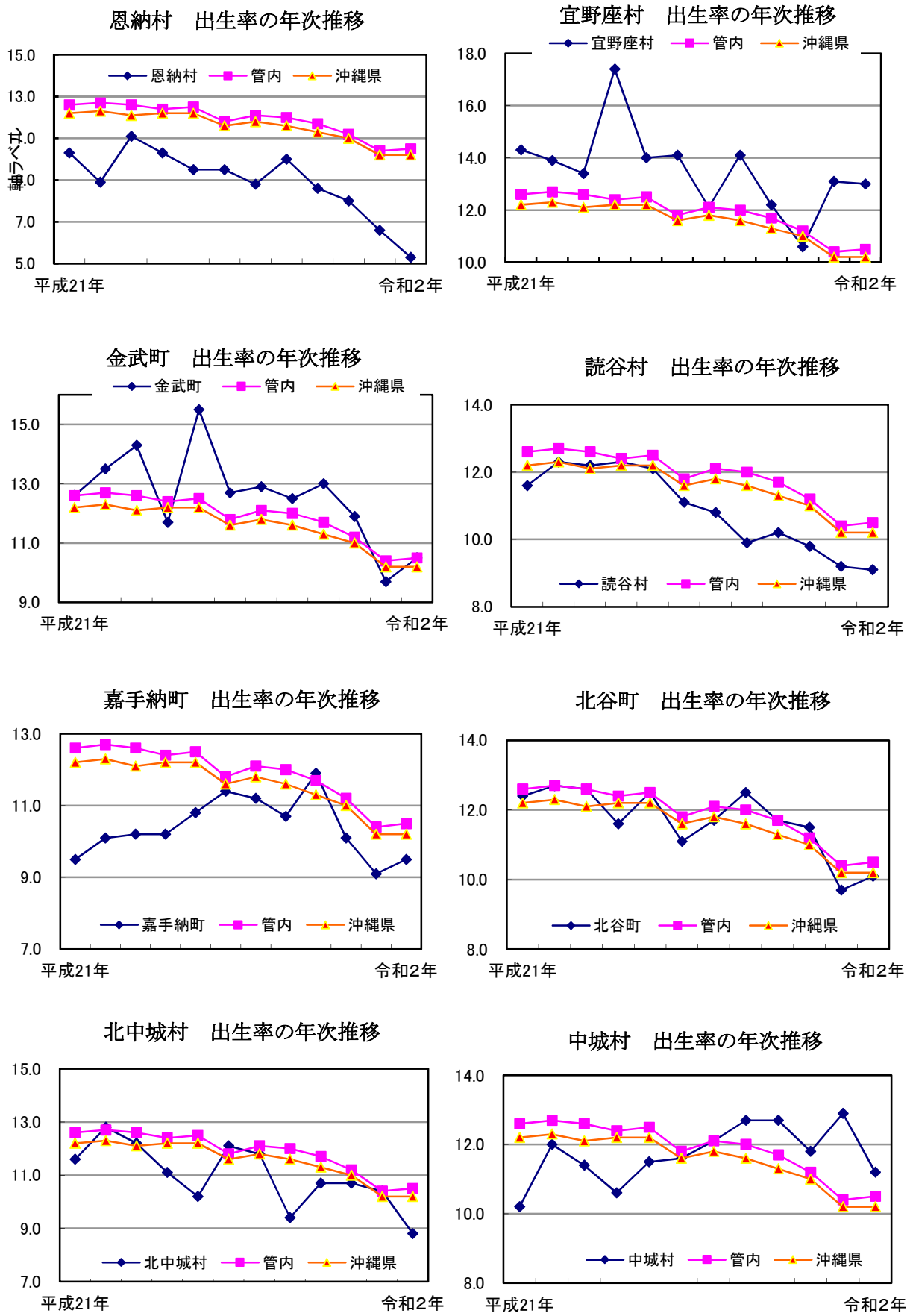


図5-3 市町村別出生率の年次推移
 (恩納村・宜野座村・金武町・読谷村・嘉手納町・北谷町・北中城村・中城村)



ウ 管内における死亡率

表5

市町村	H28	H29	H30	R1	R2
宜野湾市	6.5	6.5	6.9	6.9	6.2
沖縄市	7.2	7.9	7.5	8.4	8.0
うるま市	8.8	9.2	8.9	8.6	9.2
恩納村	11.3	8.8	10.1	10.5	8.6
宜野座村	9.6	12.0	10.3	13.1	12.5
金武町	11.5	9.6	12.1	10.9	12.4
読谷村	7.9	7.1	8.3	8.9	7.7
嘉手納町	10.9	9.8	10.2	11.3	10.8
北谷町	7.1	7.5	7.9	7.8	7.6
北中城村	7.6	8.6	7.3	8.9	6.8
中城村	6.7	7.1	6.9	8.1	7.0
管内	7.8	8.0	8.0	8.4	8.0
沖縄県	8.2	8.3	8.4	8.6	8.4
全国	10.5	11.0	11.0	11.2	11.1

令和2年の管内死亡数は4,158人で前年より108人の減少、率は8.0である。

管内で死亡率が高いのは、順に宜野座村(12.5)、金武町(12.4)、嘉手納町(10.8)、となっている。

管内で死亡率が低いのは、宜野湾市(6.2)、北中城村(6.8)、中城村(7.0)、の順となっている。

自然増減率について、管内最高値は宜野湾市(5.7)となっている(前出の「(2)管内人口の総覧」の「ア 人口動態総覧(確定数)」を参照)。

図6 管内市町村別死亡率(H28~R2)

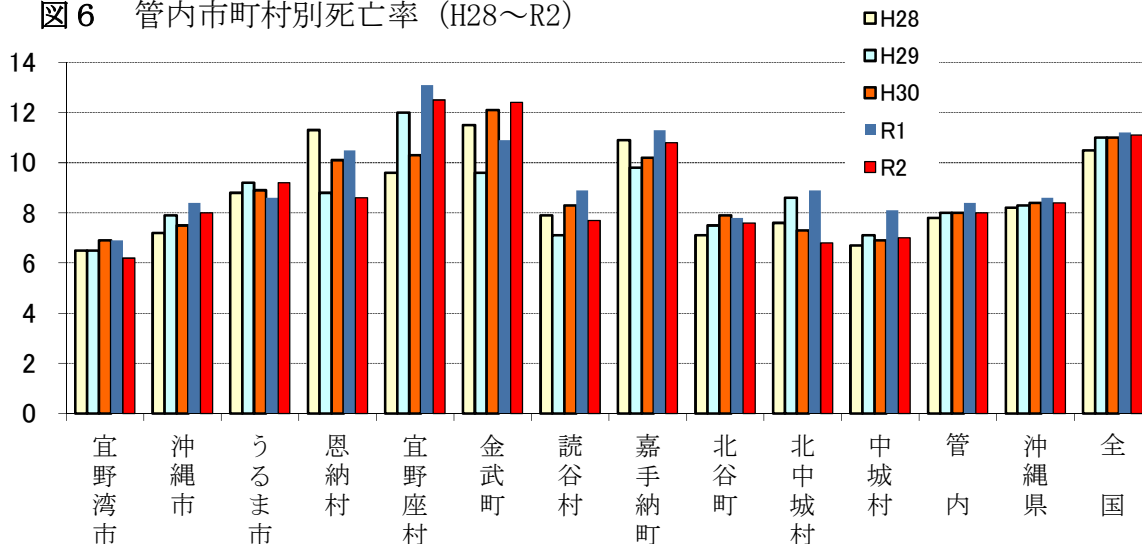
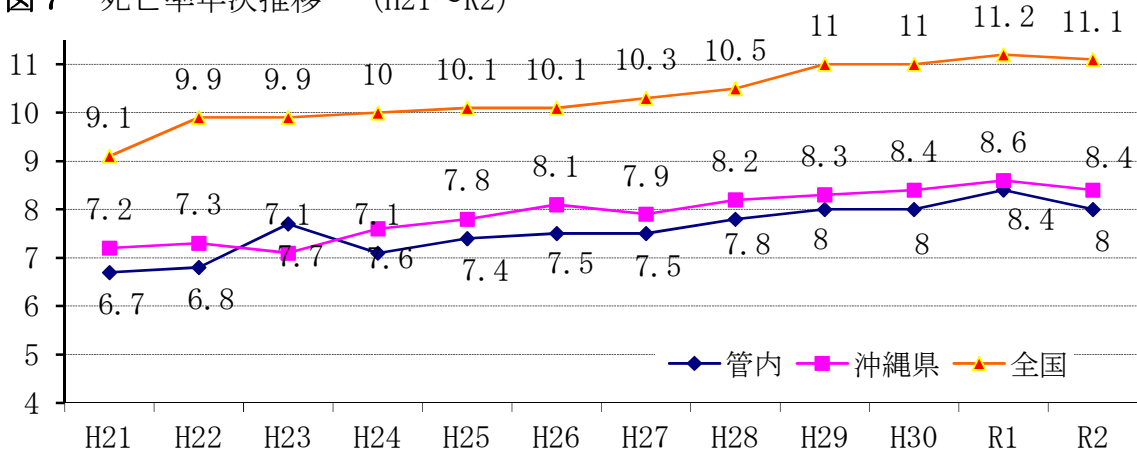


図7 死亡率年次推移(H21~R2)



エ 乳児死亡率・新生児死亡率

表6 市町村別乳児死亡率

市町村	H28		H29		H30		R1		R2	
	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率
宜野湾市	4	3.1	3	2.4	3	3.1	2	1.8	1	0.8
沖縄市	2	1.1	5	3.0	2	1.1	3	2.1	3	2.0
うるま市	2	1.5	4	3.0	1	1.5	2	1.6	7	5.2
恩納村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宜野座村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金武町	2	14	2	13.6	-	-	-	-	2.0	18.0
読谷村	-	-	4	9.9	-	-	-	-	-	-
嘉手納町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北谷町	-	-	-	-	2	6.1	1	4.0	-	-
北中城村	-	-	-	-	-	-	1	6.0	-	-
中城村	-	-	1	3.8	-	-	-	-	1.0	4.0
管内計	10	1.7	19	3.2	8	1.4	9	1.7	14	2.6
沖縄県	31	1.9	41	2.5	24	1.5	19	1.3	39	2.6
全国	1,928	2	1,761	1.9	1,748	1.9	1,654	1.9	1,512	1.8

令和2年の管内における乳児死亡数は14人で前年比で5人増加、率も前年の1.7から2.6と上昇している。

沖縄県全体においては乳児死亡数は39人で前年比では20人増加し、率も前年の1.3から2.6と上昇している。

表7 市町村別新生児死亡率

市町村	H28		H29		H30		R1		R2	
	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率
宜野湾市	-	-	2	1.6	3	2.6	-	-	1.0	1.0
沖縄市	-	-	2	0.6	-	-	1	0.7	1	0.7
うるま市	-	-	3	2.8	1	0.8	-	-	5.0	4.0
恩納村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宜野座村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金武町	-	-	2	13.6	-	-	-	-	1.0	9.0
読谷村	-	-	2	4.9	-	-	-	-	-	-
嘉手納町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北谷町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北中城村	-	-	-	-	-	-	1	6.0	-	-
中城村	-	-	1	3.8	-	-	-	-	-	-
管内計	-	-	12	2.0	4	0.7	2	0.4	8	1.5
沖縄県	-	-	22	0.9	11	0.7	8	0.5	19	1.3
全国	902	0.9	832	0.9	801	0.9	755	0.9	704	0.8

令和2年の管内における新生児死亡数は8人で前年比で6人増加し、率も前年の0.4から1.5と上昇している。

沖縄県全体としては新生児死亡数は前年8人から19人に増加し、率についても前年の0.5から1.3へ上昇している。

図9 乳児死亡率年次推移

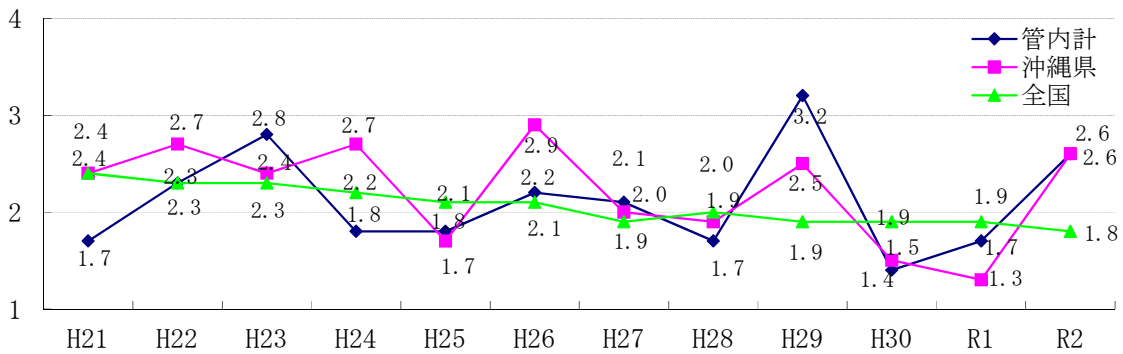


図10 新生児死亡率年次推移

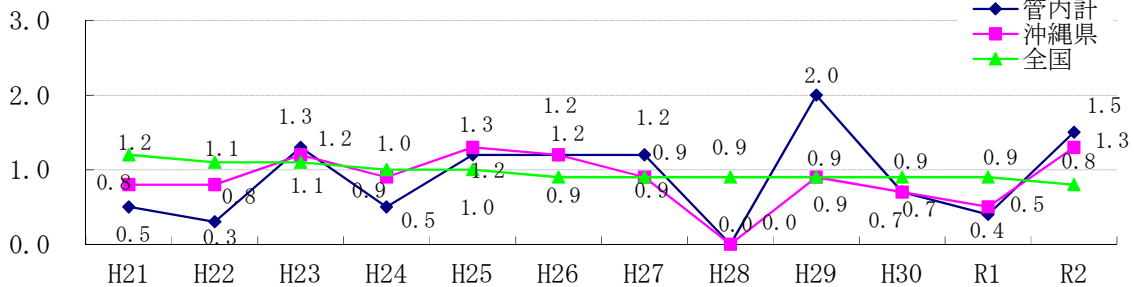


表8 オ 管内の婚姻率・離婚率

市町村	婚姻率					離婚率				
	H28	H29	H30	R1	R2	H28	H29	H30	R1	R2
宜野湾市	7.2	6.7	6.3	6.4	6.4	2.7	2.7	2.7	2.8	2.3
沖縄市	6.3	6.0	5.6	5.9	5.5	2.9	2.7	3.0	2.5	2.9
うるま市	5.6	5.3	5.2	5.4	5.1	2.9	2.6	2.8	2.9	2.5
恩納村	5.3	5.5	4.5	4.5	4.6	1.8	2.7	2.7	2.7	1.9
宜野座村	5.7	4.8	7.5	5.9	5.1	1.9	1.1	2.3	2.4	1.5
金武町	7.3	5.0	6.5	6.8	5.9	2.4	1.4	2.1	2.4	2.4
読谷村	5.8	4.9	4.9	5.2	4.4	2.1	2.2	2.5	1.9	2.0
嘉手納町	6.0	4.0	5.2	4.4	3.8	3.3	1.5	2.4	3.1	2.9
北谷町	8.1	7.3	6.5	6.3	7.0	3.5	2.7	2.9	2.6	2.7
北中城村	4.4	5.0	5.4	5.1	3.7	2.8	2.0	3.1	2.5	2.2
中城村	6.1	6.0	6.0	5.1	5.4	1.7	2.1	1.4	1.8	1.8
管内計	6.3	5.8	5.6	5.7	5.5	2.7	2.5	2.7	2.6	2.5
沖縄県	5.9	5.6	5.4	5.5	5.0	2.5	2.4	2.5	2.5	2.3
全国	5.0	4.9	4.7	4.8	4.3	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6

令和2年の管内婚姻件数は2,838件で前年より81件減少し、婚姻率は5.5となっている。管内の婚姻率の最高値は北谷町(7.0)となっている。

令和2年の管内離婚件数は1,284件で前年より33件減少し、離婚率は2.5である。管内における離婚率の最高値は沖縄市(2.9)、嘉手納町(2.9)である。

令和2年の沖縄県全体の状況として、婚姻率は東京都に次いで全国2位、離婚率は全国1位となっている(厚生労働省HP内「令和2年(2020)人口動態(確定数)の概況」参照)。

図10 管内市町村別婚姻率

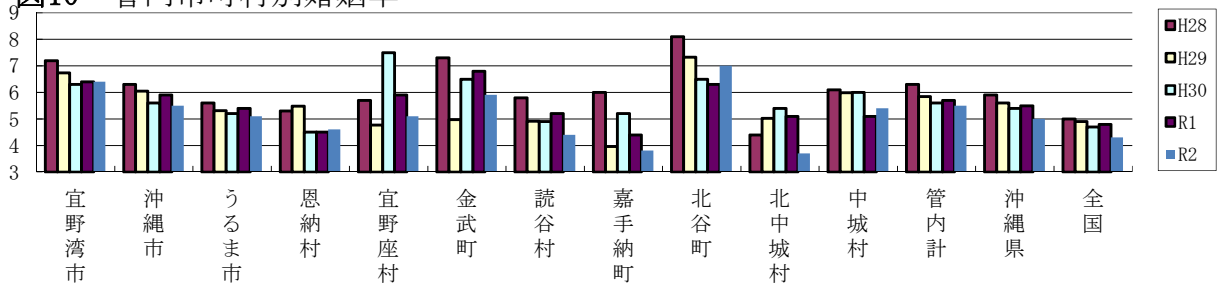


図11 管内市町村別離婚率

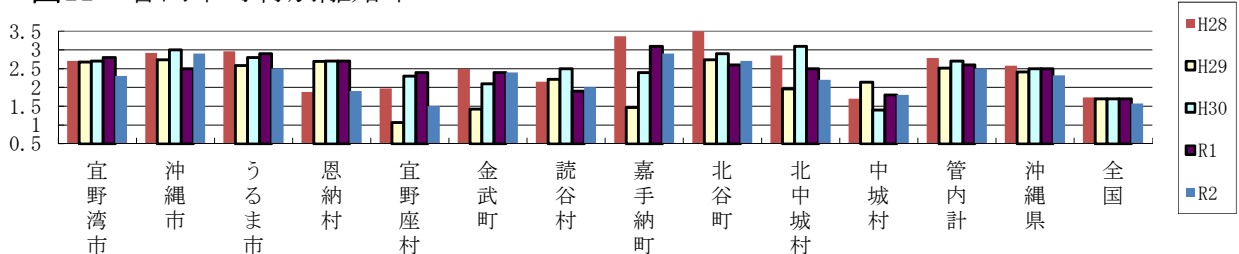


図12 婚姻率の年次推移

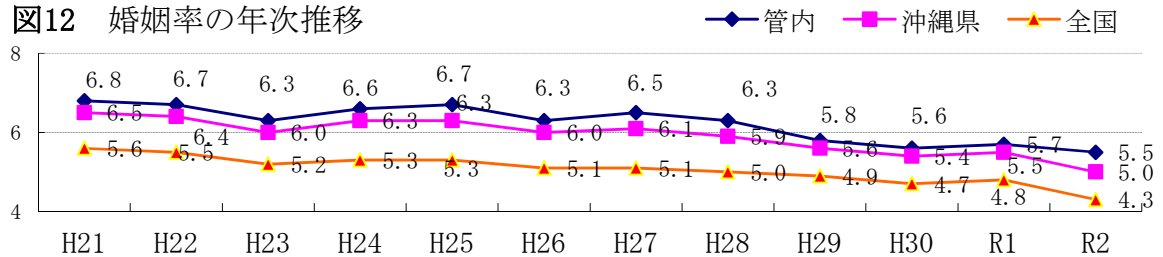
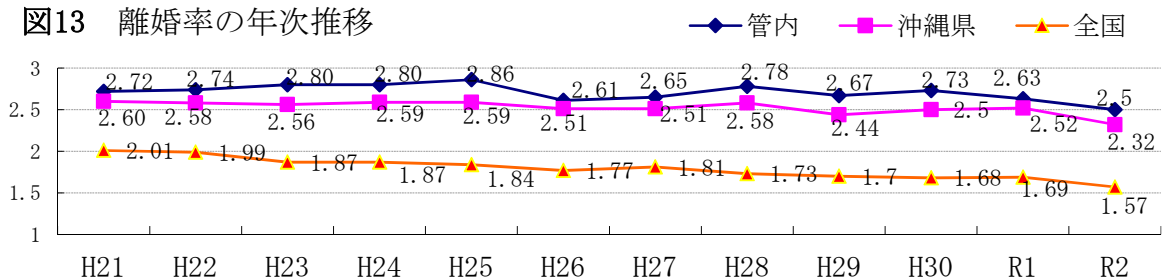


図13 離婚率の年次推移



(3)-(イ) 主要死亡原因における構成比

表11 管内

死亡原因	計		男性		女性	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
死亡総数	4,158	100%	2,228	100%	1,930	100%
悪性新生物	1,084	26.1%	641	28.8%	443	23.0%
心疾患(高血圧性を除く)	529	12.7%	270	12.1%	259	13.4%
肺炎	152	3.7%	102	4.6%	50	2.6%
脳血管疾患	319	7.7%	161	7.2%	158	8.2%
その他の呼吸器系の疾患	244	5.9%	148	6.6%	96	5.0%
自殺	72	1.7%	53	2.4%	19	1.0%
その他の死因	1,758	42.3%	853	38.3%	905	46.9%

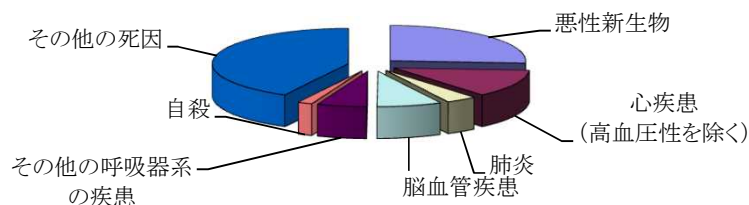


表12

悪性新生物	計		男性		女性	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
口唇口腔及び咽頭の悪性新生物	28	2.6%	20	3.1%	8	1.8%
食道の悪性新生物	31	2.9%	28	4.4%	3	0.7%
胃の悪性新生物	70	6.5%	48	7.5%	22	5.0%
結腸の悪性新生物	147	13.6%	76	11.9%	71	16.0%
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	50	4.6%	35	5.5%	15	3.4%
肝及び肝内胆管の悪性新生物	72	6.6%	47	7.3%	25	5.6%
胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	49	4.5%	32	5.0%	17	3.8%
膵の悪性新生物	79	7.3%	36	5.6%	43	9.7%
喉頭の悪性新生物	5	0.5%	5	0.8%	0	0.0%
気管、気管支及び肺の悪性新生物	209	19.3%	148	23.1%	61	13.8%
皮膚の悪性新生物	9	0.8%	5	0.8%	4	0.9%
乳房の悪性新生物	33	3.0%	1	0.2%	32	7.2%
子宮の悪性新生物	33	3.0%	0	0.0%	33	7.4%
卵巣の悪性新生物	17	1.6%	0	0.0%	17	3.8%
前立腺の悪性新生物	41	3.8%	41	6.4%	0	0.0%
膀胱の悪性新生物	14	1.3%	8	1.2%	6	1.4%
中枢神経系の悪性新生物	11	1.0%	8	1.2%	3	0.7%
悪性リンパ腫	40	3.7%	22	3.4%	18	4.1%
白血病	54	5.0%	33	5.1%	21	4.7%
その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	18	1.7%	10	1.6%	8	1.8%
その他の悪性新生物	74	6.8%	38	5.9%	36	8.1%
心疾患(高血圧性を除く)	計		男性		女性	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
	529	100%	270	100%	259	100%
慢性リウマチ性心疾患	12	2.3%	4	1.5%	8	3.1%
急性心筋梗塞	89	16.8%	43	15.9%	46	17.8%
その他の虚血性心疾患	113	21.4%	76	28.1%	37	14.3%
慢性非リウマチ性心内膜疾患	35	6.6%	13	4.8%	22	8.5%
心筋症	13	2.5%	8	3.0%	5	1.9%
不整脈及び伝導障害	82	15.5%	36	13.3%	46	17.8%
心不全	142	26.8%	66	24.4%	76	29.3%
その他の心疾患	43	8.1%	24	8.9%	19	7.3%
脳血管疾患	計		男性		女性	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
	319	100%	161	100%	158	100%
くも膜下出血	32	10.0%	10	6.2%	22	13.9%
脳内出血	113	35.4%	56	34.8%	57	36.1%
脳梗塞	158	49.5%	86	53.4%	72	45.6%
その他の脳血管疾患	16	5.0%	9	5.6%	7	4.4%

※主要死亡原因における年齢階層分布並びに管内年齢層別死亡原因統計については、「令和2年衛生統計年報(人口動態編)」への関係データの掲載が確認出来ず、抜粋編集等していない。